

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チェリーブロッサム		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		～ 2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	デイサービスでの活動以外にも家庭内電困り感や問題についても情報を共有して支援に結び付けています。	必要な家庭には利用が無い時も電話で連絡して問題の情報を共有します。	困り感を表現できない子どもには家族にも丁寧にヒアリングしていきます。
2	家族支援、学校、関係機関との連携の部分で法人内で情報を共有出来ます。	必要なケースに対しては法人内の他事業所（居宅支援事業・クリニック・短期入所事業）と連携して必要な場合は会議を開きます。	法人以外との横のパイプも積極的に繋げていきます。
3	研修体制による専門性で法人全体で内外の研修に取り組み学習の機会を設けてます。	年間のスケジュールで法人内の研修を月に1度開催してる。外部研修も積極的に参加出来る様に掲載してます。	自分の担当の年齢だけでなく幼少期・学童期・青年期と学習の対象の年齢の幅を広げていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用対象児が普通学級・支援級・支援学校等障害の程度が違う中で意思疎通の問題や活動の取り組みに差異があり支援の細分化があります。	利用者の理解や関わりに対して広い専門領域が必要になってきます。	幼児部門や学童部門等の研修会や事例検討などでさまざまな子どもの障害や特性について学んでいきます。
2			
3			